

# みんな

## よくなれ

令和五年十二月十八日発行

29回生通信  
第28号

### うまくいかないとき

四組担任 吉峯 旬作 先生

大学院生のときです。交際している人がいました。とても気が合いません。真面目な話もふざけた話もできました。約束していたわけでもないけれど、大学院を修了したら結婚しようと思っていました。「就職活動がんばるね」と私は言っていました。ところが、です。私は「突然振られてしまいました。」「好きな人ができたから」というのが理由でした。一カ月ほど経って、私は、やっぱり話し合いたい、と思いつつ彼女の家を訪ねました。しかし、そこにはもう新しい恋人がいました。いくつもの企業の面接を受けていたが、間もなく各社から「お祈りメール」が来ました。それは、選考を受けた企業から届く不合格通知で、「今後の活躍をお祈り申し上げます」という一文が添えられているため、そう呼ばれます。当時私は二十四才。自分だけが取り残されている感覚でした。

私は人のせいにしていました。就職が決まらないのは、企業の役員の見目がないから。自分が不幸なのは、親が悪いから。先に社会人になつていった同級生たちをも憎みました。どこかに自分の居場所があるのを見て、大学院を休学し、海外生活を始めました。初めはたくさん友達と心配してくれましたが、しだいに、相手にしてくれない友達も減っていききました。

ヨーロッパの冬。すぐに資金が尽きました。現地の職業安定所に行つて、雪かきの仕事を探しました。係の人から、言語がどのくらいできるのかと問われ、まごまごしていると、「シッシ」のジュエスチャーで追い払われました。街では若者グループにカンフーのモノマネをされて、からかわれました。「何やってるんだらう、俺」。独り言でつぶやきました。

ばさばさに乾いてゆく心を ひとのせいにはするな  
みずから水やりを怠つておいて

気難かしくなってきたのを 友人のせいにするな  
しなやかさを失ったのはどちらなのかな

苛立つのを 近親のせいにはするな  
なにもかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるのを 暮らしのせいにはするな  
そもそもが ひよわな志にすぎなかった

駄目なことの一切を 時代のせいにはするな  
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい 自分で守れ  
ばかものよ (茨木のりこ「自分の感受性くらい」)

今でも、うまくいかないことがあると、人のせいにしたくなります。でも、社会のせいや時代のせいにしたところで、結局、自分の人生は自分の人生。逃げるも、立ち向かうも、自分次第です。私は二十代半ばに、何をやってもうまくいかないときがありました。でも、今の自分が不自由なく生きていられるのは、そのときの失敗があったからだと、今なら言えます。うまくいなくても、そのうち良いことがあるから、がんばらう。

## 創立三十周年記念式典

十一月十一日(土)の十三時から、兵庫県立大学附属高校・中学校創立三十周年記念式典が行われました。

来賓の方々には、齋藤兵庫県知事の名代としての総務部長の小橋浩一様、兵庫県立大学理事長國井総一郎様、県立大学学長高坂誠様を初めとして八十名にもなりました。また、国会議員二名、兵庫県議会議員二名も壇上に並びました。

その中のお一人で、栗原市選出の前井まさ議員は公式ラインで式典に触れています。附属へのエールだと思えますので紹介します。

土曜日は兵庫県立大学附属中学・高校の創立三十周年記念式典に来賓として参加させていただきました。

県立大学附属中学・高校の教育テーマは「目指せ世界のバイオニア」です。Bioに代表される近隣の研究施設との連携を強みに、学術研究の後継者や国際感覚を育てる独自の教育プログラムを実践されています。式典で全校生徒の皆さんを前に、ここから世界に羽ばたく人材が育っていくかと思うと、その可能性の大きさにワクワクが止まりませんでした。

それでは、式典の進行に携わった29回生の感想を紹介します。

**生徒代表お礼の挨拶担当**

創立三十周年、そして次へ 一組 高松 航大 さん

創立三十年という節目の年に在学でき、記念式典に参加できたこと、また、生徒代表として大勢のご来賓の方々がいらっしゃる中、お礼の挨拶をすることができてとてもうれしかったです。式典を通して、テクノの街そして附属がつくられた経緯や、多くの方々がこの高校に込めた深い思いをたくさん聞くことができました。これまで三十年、四千人を超えるの方々によってつながれてきた思いのつまった附属のバトン。そのバトンが五十年、百年、またその先へと繋がっていきますように。

### 司会担当

式典を終えて

一組 福本 愛 さん

三十周年式典に参加できたこと、そして司会を任せてもらったこととても貴重な経験でした。今まで全校生徒が集まるだけで人数の多さに圧倒されていたのに、約八十名のご来賓の方々がいらっしゃって、これまでで一番緊張していたと思います。自分には荷が重いとずっと思っていました。大人になってもなかなかできないことを経験できて、この機会をくださった先生方にとっても感謝しています。欲を言えば、百周年行事にも参加したいです。



### ピアノ伴奏担当

祝三十年

一組

春國 凜 さん

今回、附属高校の三十周年記念式典でピアノ伴奏をさせていただきました。大勢の来賓の方々や全校生徒の皆さんがいる中でピアノを弾く機会はめったにないと思うので、貴重な機会をいただけて本当に嬉しかったです。私の伴奏に合わせて国歌を歌い、起立礼をしてくださってありがとうございました。附属高校がこれからも年を重ねられますように。

三十周年おめでとうございます。



### 記念講演会と生徒挨拶

式典の後、記念講演会が開かれました。記念講演会是一部から三部までありました。それぞれの講演テーマと講師の方々を紹介し、それぞれの感想を掲載します。また、生徒代表のお礼の挨拶を生徒会長の高松さんが述べました。その全文も掲載します。

一部 「附属高等学校黎明期と寄せられた期待」

講師 太田 勲 氏

(前兵庫県立大学学長兼副理事長)

二部 「創立当時を振り返って」

岩崎 洋平 氏 (一回生)

林 幹夫 氏 (一回生学年主任)

今井佳代子 氏 (初年度く令和元年度養護教諭)

三部 「本校での思い出」

田中 俊也 氏 (一回生)

岡村 康平 氏 (一回生)

永淵 智 氏 (一回生)

西山 祐樹 氏 (三回生)

末政絵里子 氏 (七回生)

### 第一部 太田前学長のご講演を聞いて

今の学校生活があるのは

四組

深澤 莉緒 さん

太田前学長先生の講演を通して、私たちの学校に対する愛をとても感じました。初めて学校が作られたときのお話を聞き、学校を作るといふことは簡単ではないということを知ることができました。30年前のたくさんの方々の努力があったからこそ、私たちは楽しい学校生活を送ることができています。そのありがたさに気づく良い機会になりました。これからの兵庫県立大学附属高校の発展を願いました。



第二部 「創立当時を振り返って」の感想

無限大の生活場所

三組

石野 結子 さん

記念講演の第二部では、附属高校一回生の学年主任の先生と一回生代表の方が一人、そして附属高校ができて初めての養護教諭の先生合わせて三人での話し合いです。学年主任の先生は「一回生は寮生が頑張っていた。」とおっしゃっていました。自分も黎明寮で生活しています。寮は学習する場所が整っているだけではなく、主体性をさらに磨くことができる場所と感ずることができました。学校生活も寮生活も頑張っていたと思います。



第三部 「本校での思い出」の感想

パネルディスカッションを聞いて

末政 晴己 さん

私は今回、記念講演でのパネルディスカッションを聞いて、自分の好きなことや興味のあることの大切さを感じました。講演をしてくださったOBのみなさんの多くが自分の好きなことを仕事にしている、とても生き生きとしていらつしやるように感じました。文系や理系などにとらわれず、自分のしたいことや興味のあることを見つづけるために、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思いました。



「生徒代表お礼の挨拶」全文

秋の気配が色濃く感じられ、私たちを見守る山々が錦綉に彩られる季節となりました。

本日、兵庫県立大学附属高等学校・中学校創立三十周年記念式典が、兵庫県総務部長小橋浩一様、兵庫県立大学理事長長岡井総一郎様をはじめとする方々のご臨席を仰ぎ、このように盛大に挙行されますことに、生徒を代表いたしまして心からお礼申し上げます。私たちは附属学校創立三十年という記念すべき節目の年に、生徒として立ち会うことができた喜びと、今日まで附属学校を支えてくださった方々への感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、ここ数年、新型コロナウイルス感染症により、さまざまな行事に制限がかかりました。ところが、三十周年を迎えた今年、春の文化祭では飲食を伴う模擬店が復活し、ステージではクラス演劇に有志の発表も大いに盛り上がりしました。夏には、アメリカ・オーストラリア・タイへ海外研修に行き、秋にはタイのトリナム高校の十三名の生徒が附属学校で一週間を過ごし、私たちと一緒に授業を受け、体育大会にも参加しました。



三十年の間に先輩方によって培われてきた国際交流がまた新たに動き始めています。そして国際交流だけではなく、勉学、部活動、学校行事にも附属の生徒は一生懸命に取り組み、活気にあふれた学園生活を送っています。

附属学校の校訓は「創造」です。私たちは創造と進歩を胸に刻みつつ、校歌にある「目指せ 世界のパイオニア」を目標として、附属学校のさらなる発展のために、魅力あふれる学校へと進化させていきます。

そして私たちが在校生には四千人を超える頼もしい先輩方がいらつしや、各界でご活躍なさっています。三十周年記念式典開催に当たっては、委員長の岡田様をはじめ多くの同窓会の方々がこの式典の準備に携わってくれました。また、三十周年記念式典準備委員会からは、今、私たちの目の前にある体育館の一字幕と横断幕、さらに高校の校歌と中学校の校歌をそれぞれCDにして寄贈していただきました。本当にありがとうございます。最後に、本日、私たちの兵庫県立大学附属高等学校、附属中学校へお越しくださいましたご来賓の皆様と、この三十周年にあたりご協力くださいました同窓会である創進会をはじめとする多くの皆様に感謝を申し上げます。附属学校と皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、生徒代表御礼のご挨拶といたします。

令和五年十一月十一日

兵庫県立大学附属高等学校生徒代表 高松 航大



前期小テストの報告

数学・英語・国語の小テストを朝のSHRで実施しています。実施曜日は、数学が火曜日、英語が木曜日、国語が金曜日です。各教科の上位十名と三教科総合の上位二十名を紙上で発表します。三教科の全ての回がほぼ満点という人もいます。「努力に勝る天才なし」とも言えます。みなさんの努力がきっと実を結ぶものと思います。後期の小テストも継続して実施中です。引き続き頑張ってください。

総合ベスト20

1位	三組	藤田 夏穂 さん
2位	四組	西塚 いづみ さん
3位	四組	進藤 結以 さん
4位	三組	内田 悠仁 さん
5位	五組	岸本 結月 さん
6位	五組	山本 稀央 さん
7位	一組	相原 美南 さん
8位	三組	黒田 麻友 さん
9位	四組	古川 桜羽 さん
10位	三組	西山 晟叶 さん
11位	二組	大前 響輝 さん
12位	五組	宮地 娃衣 さん
13位	三組	山本 一颯 さん
14位	一組	春國 凜 さん
14位	三組	石野 凜 さん
14位	五組	長谷川 結子 さん
17位	二組	市原 康士郎 さん
17位	四組	原田 朱馬 さん
17位	五組	原田 陽南乃 さん
20位	五組	安川 弥来 さん



数学ベスト10

1位	三組	藤田 夏穂 さん	8位	三組	山本 一颯 さん
2位	三組	内田 悠仁 さん	9位	四組	田路 悠華 さん
3位	二組	吉田 朱利 さん	10位	二組	大前 響輝 さん
3位	三組	西山 晟叶 さん	10位	二組	川江 隼斗 さん
3位	三組	長谷川 惇 さん	10位	四組	小林 心優 さん
3位	四組	進藤 結以 さん	10位	四組	古川 桜羽 さん
3位	四組	西塚 いづみ さん			

英語ベスト10

1位	一組	春國 凜 さん	1位	五組	竹中 友唯 さん
1位	二組	小林 千紘 さん	1位	五組	長谷川 万琴 さん
1位	三組	石野 結子 さん	1位	五組	藤本 菜央 さん
1位	三組	黒田 麻友 さん	1位	五組	宮地 娃衣 さん
1位	三組	藤田 夏穂 さん	1位	五組	山本 稀央 さん
1位	四組	進藤 結以 さん			

国語ベスト10

1位	一組	相原 美南 さん	1位	三組	藤田 夏穂 さん
1位	一組	官野 照仁 さん	1位	五組	岸本 結月 さん
1位	二組	市原 康士郎 さん	1位	五組	後藤 美温 さん
1位	二組	小林 千紘 さん	1位	五組	長谷川 万琴 さん
1位	二組	松尾 美桜 さん	1位	五組	山本 稀央 さん
1位	三組	内田 悠仁 さん			

税の作文の表彰

夏休みの宿題に「税の作文」がありました。その作文で29回生の二名の表彰が決まっています。表彰される日は、十二月二十二日です。相生税務署の方が附属高校にお越しになって、表彰を受けます。その二人を紹介します。なお、表彰の様子と二人の感想は年明けの学年通信に掲載します。

国税庁長官賞	五組	宮地 娃衣 さん
相生税務署長賞	一組	明石 真美 さん

今後の行事予定（2年生関連）

12月		
19日(火)	高大連携授業	
20日(水)	午前中授業・三者面談開始	
21日(木)	海外研修報告会	
22日(金)	全校集会	
25日(月)	冬季休業開始	
1月		
8日(月)	成人の日	
9日(火)	大掃除、LHR、課題考査	
11日(木)	寮生集会	
13日(土)	長距離走前健康診断	
	大学入学共通テスト	
	～14日(日)	
15日(月)	寮生を送る会	
20日(土)	進研実力～21日(日)	
23日(火)	高大連携授業	
25日(木)	中学入試会場準備6限	
	16時完全下校	
26日(金)	登校禁止	
27日(土)	中学入試 登校禁止	
28日(日)	全統模試 希望者 校外	
2月		
1日(木)	1限9:00 授業開始	
2日(金)	情報モラル講演会	7限
3日(土)	進研マーク模試	4日も